

AM/FM ラジオ付 USB プレーヤー 取付説明書

共通編

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

本書はAM/FMラジオ付USBプレーヤーの取付方法「共通編」について記載しています。

取り付け前に、本書と別冊の「車種別編」を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

なお、取り付けミスを避けるため、取り付けはスズキ代理店、またはスズキ代理店が指定した販売店で行ってください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

⚠ 警告、**⚠ 注意**、**注 記**、 **アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

⚠ 警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
⚠ 注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注 記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品 番	適 用 車 種		適用年式
99096-80T05-K04 (DPXM33BTHS)	スペーシア ベース ハスラー スイフト スイフトスポーツ	MK33V MR52S、MR92S ZCDDS、ZCEDS、ZDDDS、ZDEDS ZC33S	2024 年 12 月～
	ジムニーノマド	JC74W	2025 年 4 月～
	アルト	HA37S、HA97S	2025 年 7 月～
	ラパン	HE93S	2025 年 8 月～
	クロスビー ジムニー / ジムニーシエラ	MND1S JB64W / JB74W	2025 年 10 月～
	ワゴン R	MH85S、MH95S	2025 年 12 月～
	キャリイ / スーパーキャリイ	DA16T	2026 年 1 月～
	エブリイ	DA18V、DA18W	2026 年 5 月～

※ 取り付ける車両により、別途部品が必要な場合があります。2 ページ目をご覧ください。

●エブリイに取り付ける場合

※ 別途、オーディオ交換ガーニッシュが必要です。詳細はアクセサリカタログをご覧ください。

●ジムニー / ジムニーシエラ / ジムニーノマドに取り付ける場合

※ 別途、アンテナ変換ケーブル 99000-79X49 (GCA24S) が必要です。

●キャリイ / スーパーキャリイに取り付ける場合

・ キャリイ

※ 別途、オーディオ交換ガーニッシュが必要です。また、AM/FM ラジオ（スピーカー内蔵）付き車の場合には、追加でオーディオブラケット、スピーカーが必要です。

・ スーパーキャリイ

※ 別途、オーディオ交換ガーニッシュが必要です。

●スイフト、スイフトスポーツに取り付ける場合

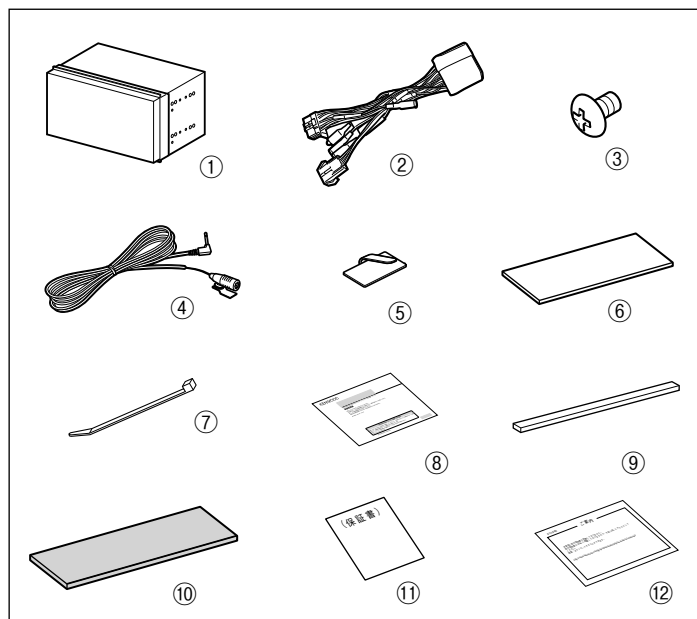
※ 別途、アンテナ変換ケーブル 99000-79X49 (GCA24S) が必要です。

●クロスビーに取り付ける場合

※ 別途、オーディオ交換ガーニッシュが必要です。

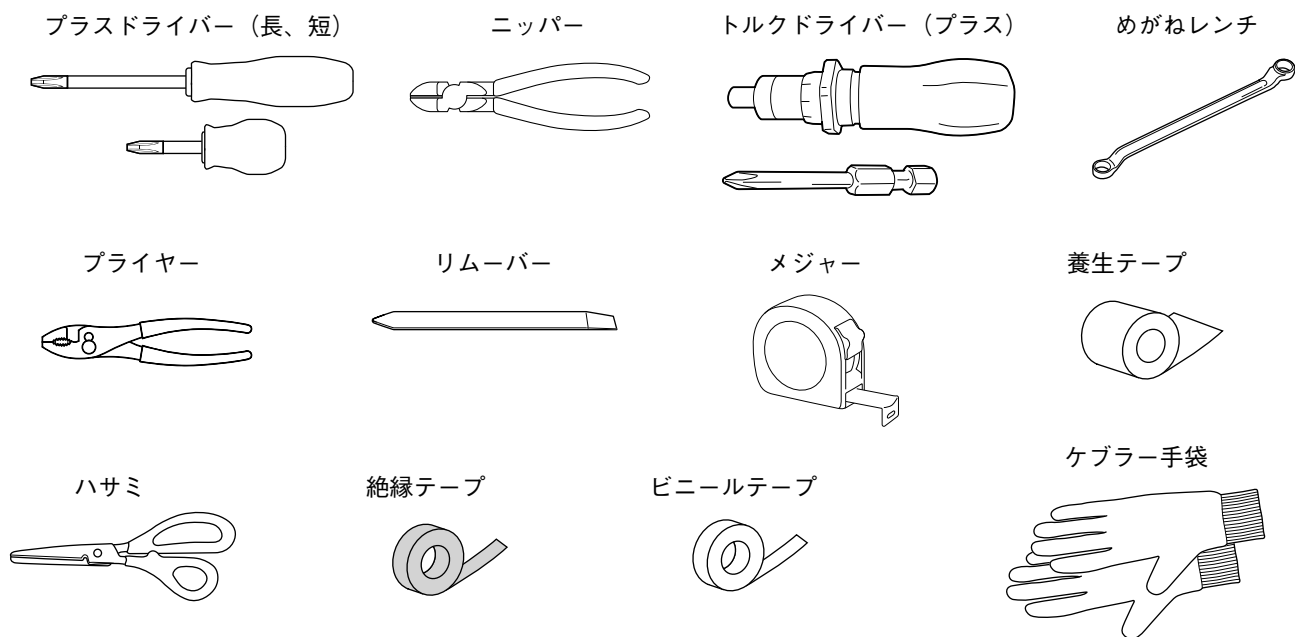
構成部品

■ AM/FM ラジオ付 USB プレーヤー (99096-80T05-K04)



図中 番号	品名	数量
①	オーディオ本体	1
②	電源ハーネス	1
③	トラスネジ (M5 × 8mm)	6
④	マイク	1
⑤	ケーブルクランパー	2
⑥	固定テープ (180mm × 50mm)	1
⑦	束線バンド (150mm)	2
⑧	取扱説明書	1
⑨	クッション (205mm × 7mm)	1
⑩	保護シート (200mm × 50mm)	2
⑪	保証書	1
⑫	補助説明書 (ご案内)	1

使用工具



取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

取付上の注意事項

安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意（しなければなら ない）の内容です。	 禁止（してはいけ ない）の内容です。	 実行（かならず行っ ていただく）の内容です。
---	---	---

警告



エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。

エアバック用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバックの動作不良の原因となります。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。



説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。



SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する
車両復元後、SRSエアバッグ警告灯に異常がないか確認してください。

注意



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

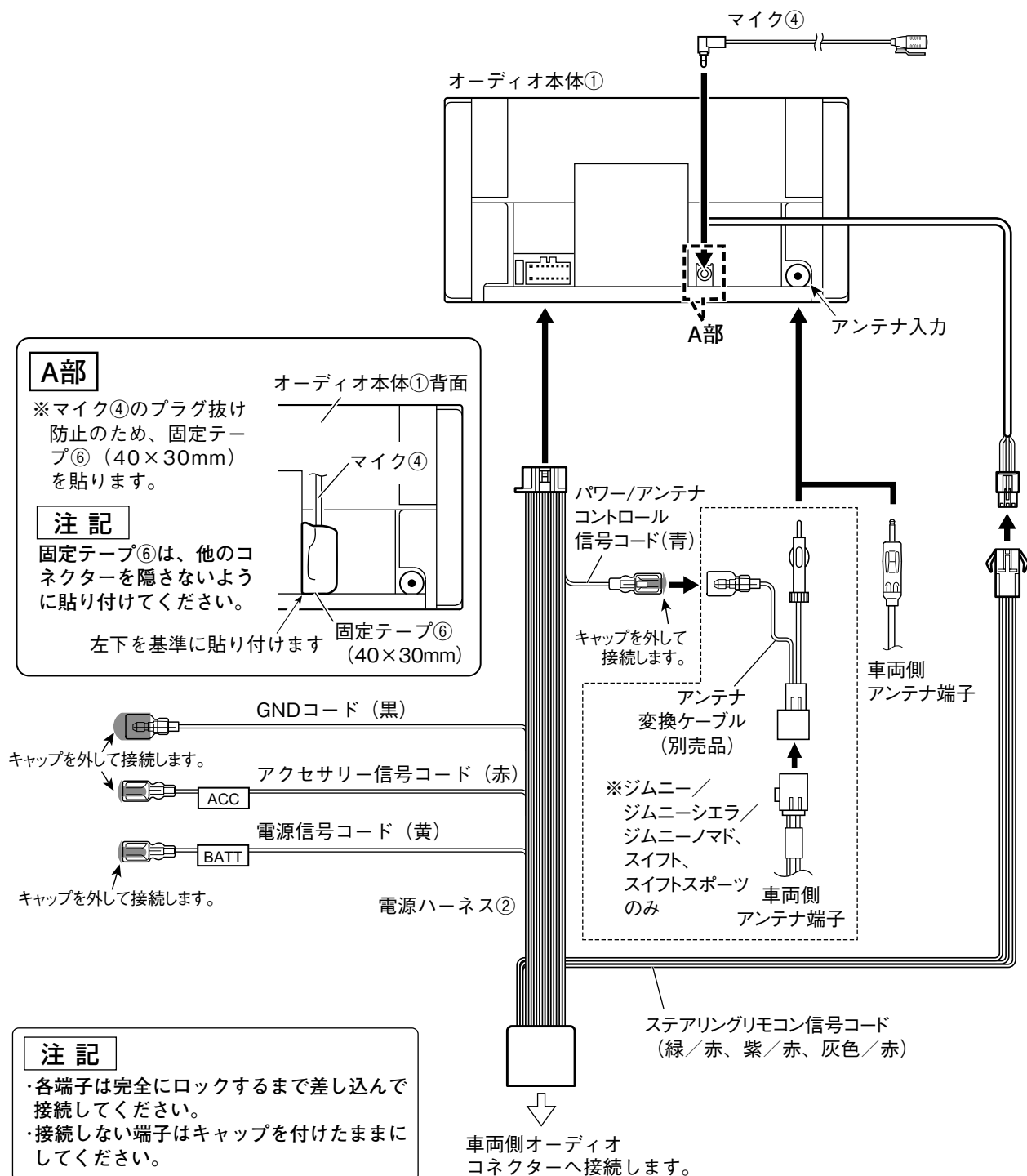
注 記

- ・車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

アドバイス

- ・車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

結線図



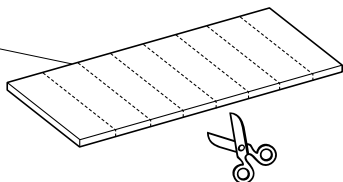
取付要領

■ 保護シートの準備

・保護シート⑩の準備については、車種別編をご覧ください。

■ 固定テープの準備 1

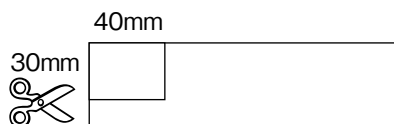
固定テープ⑥



ケーブルを固定するため、固定テープ⑥を図のように適宜カットしてください。

■ 固定テープの準備 2

全車種共通

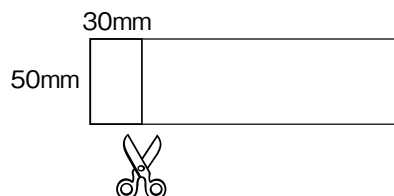


・ 40mm × 30mm の固定テープを 1 枚 準備する。

固定テープ⑥を図のようにカットしてください。

マイク④のプラグの抜け防止に使用します。使用方法は P5「結線図」をご覧ください。

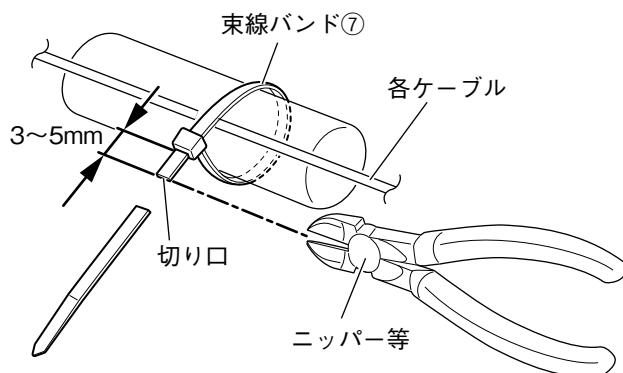
スィフトに取り付ける場合



・ 30mm × 50mm の固定テープを 1 枚 準備する。

スィフトに取り付ける場合、固定テープ⑥を図のようにカットしてください。マイク④のケーブルの固定に使用します。使用方法は車種別編 スィフトをご覧ください。

■ 束線バンドのカットについて



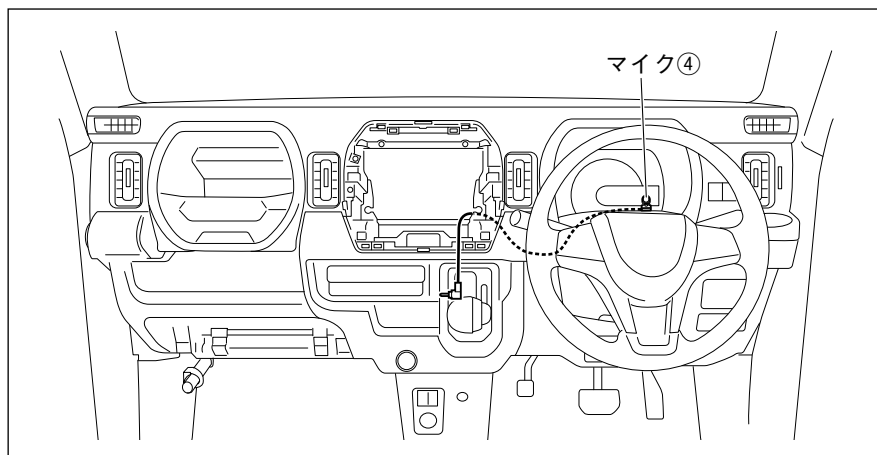
注 記

束線バンド⑦は 3 ～ 5mm の切代を残し、切り口が鋭利な形状とならないようニッパ等でカットしてください。

切代が短すぎるとバンドが外れるおそれがあります。

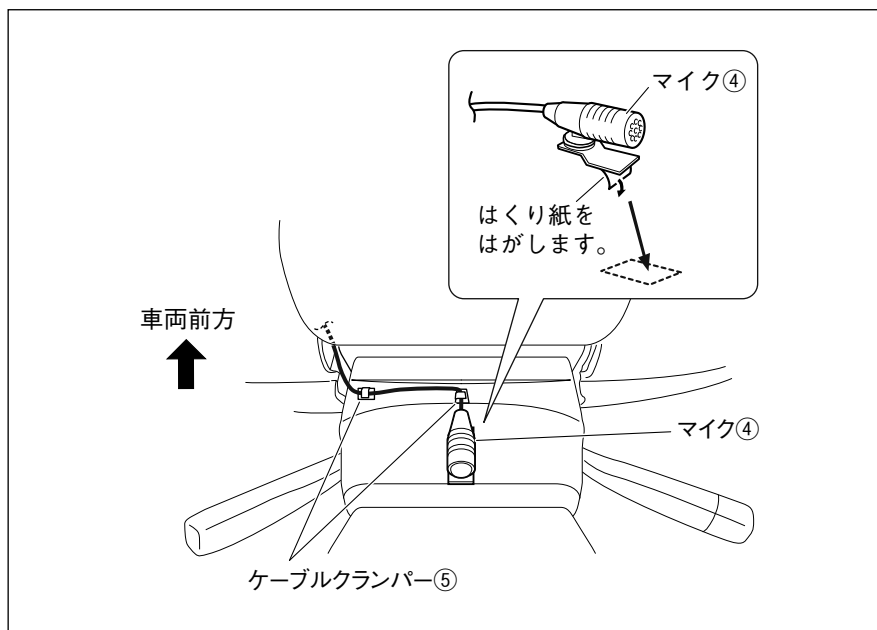
■ マイクの取り付け方

取付概要



1. 左図のように取り付けます。

取り付け方



※ 車種ごとの取付位置、配線については、車種別編をご覧ください。

1. マイク④の取付位置を確認します。
2. 取付位置の油などの汚れをきれいに拭き取ります。

▲ 注意

マイク④を貼り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

3. マイク④のはくり紙をはがし、ステアリングコラムカバーなどに貼り付けます。
4. マイク④のケーブルをケーブルクランパー⑤で固定します。

▲ 注意

ケーブルクランパー⑤を貼り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

取り付け完了後の点検・調整

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

a. 取り付けの確認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
2. 特に車両ハーネス等を無理に引っ張ったり、かみ込んでいないか確認してください。
3. ネジ類の締め付けが完全か、締め忘れはないか確認してください。

b. 作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
2. エンジンを始動した状態でオーディオの動作確認を行ってください。
(トラブルシュートについてはオーディオに付属の取扱説明書に記載してあります。)

c. 最終確認

1. 車両のメーター、警告灯、ヘッドランプ、エアコン、時計、ホーン、ワイパー、アクセサリースOCKETなどが正常に動作することを確認してください。

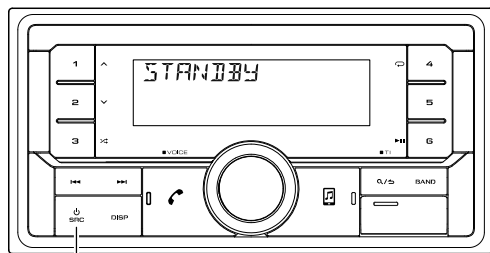
取り付け店様へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。

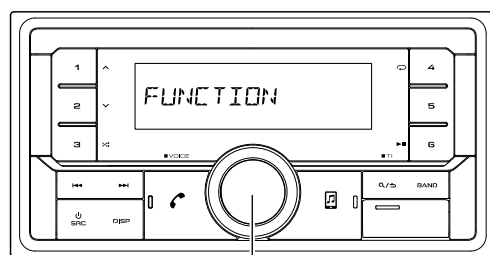
オーディオ取り付け後の設定

■ ステアリングリモコンの設定

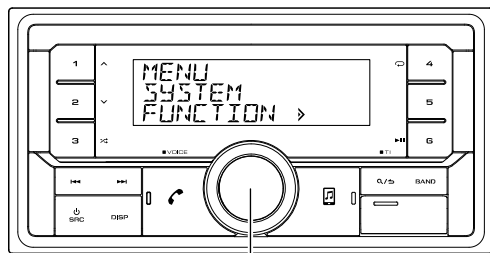
・ステアリングリモコンが装着されている場合は、下記の設定を行ってください。



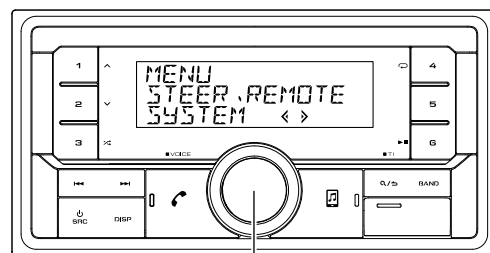
SRC ボタン



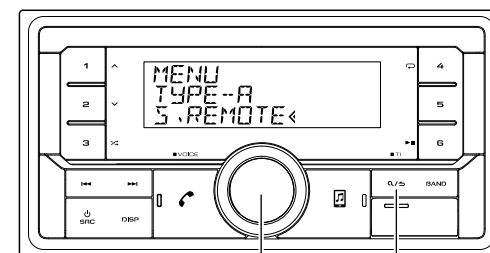
ボリュームノブ



ボリュームノブ



ボリュームノブ



ボリュームノブ Q/5ボタン

1. パーキングブレーキをセットして、エンジンスイッチを ON にします。

2. [SRC] ボタンを繰り返し押して、“STANDBY” を選びます。

3. ボリュームノブを押して “FUNCTION” モードに入ります。

4. ボリュームノブを回して “SYSTEM” を選び、ボリュームノブを押して決定します。

5. ボリュームノブを回して “STEER.REMOTE” を選び、ボリュームノブを押して決定します。

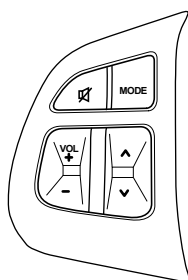
6. ボリュームノブを回して、取り付けた車両に合った設定を選びます。(次ページを参照してください。)

※ 初期設定は [TYPE A] に設定されています。

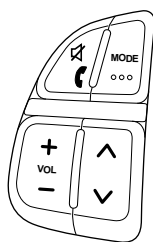
7. [Q/5] ボタンを繰り返し押して、“STANDBY” へ戻ります。

<ステアリングリモコン>

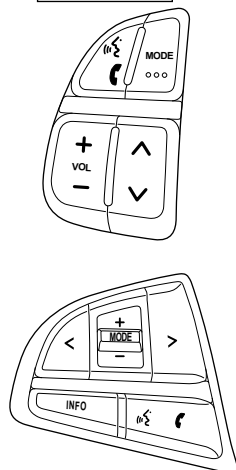
・タイプ A



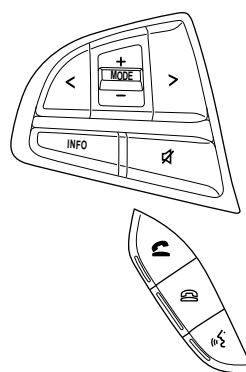
・タイプ B



・タイプ C



・タイプ D



※ 車両により、ハンズフリー / 音声認識キーはありません。

・タイプ E

